

小学部だより

2021. 7. 19 No.7

MieMu 校外学習

7月になって連日、暑い日が続いているなか、校外学習、宿泊学習と行事が続きました。学校を離れての学習は子ども達にとっては楽しみであるとともに、貴重な体験が出来る機会です。

まず、今回は2回延期になっていた MieMu 校外学習の感想を、次ページから紹介します。



M i e M u の感想

はじめに常設展示をみました。木で出来た三重県の地図を触りました。陸は山がごつごつして、海は広がっていて、点字で「 $\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot$ (くまのなだ)」と書いてありました。イノシシのはく製は怖かったけど、ウリ坊は小さいので A さんと一緒に触ることができました。一番気に入ったのはセミの展示コーナーです。ボタンを押すといろいろなセミの鳴き声が聞こえました。ツクツクボウシとミンミンゼミの声がおもしろくて B ちゃんと一緒に何度もボタンを押しました。

鳥の触察は怖かったですがスズメは触ったらかわいかったです。くちばしが思っていたのよりとがっていて当たると痛かったです。最近本で読んで詳しくなったハシボソガラスは、くちばしが曲がっていて羽はふさふさで、先のほうはパリパリしていました。がんばって足を触ったら爪が曲がっていて足は固くてしわしわでした。

トビは羽の長さが長くて、私が両手を広げても届きませんでした。こんな大きな羽なら飛ぶのが上手だと思いました。私はうちわでパタパタして飛べるかなと試したことがありますが、飛べませんでした。もっと大きなうちわが要るなあと思いました。

シロハラはくちばしがとがっていて、カワセミのくちばしは長くて、ハシビロガモは先が丸くてぺたっとしていました。食べ物が違うとくちばしが違うのが面白かったです。

石の触察の時間は短かったけど、サヌカイトの音がきれいで気に入りました。

ミエゾウの足の骨は、岩が積んであるみたいで太かったです。牙はとても長かったです。尻尾からずっと牙の先まで触って歩きました。大きくてびっくりしました。あとで、ミエゾウの絵本を読みました。大昔、このへんをいっぱいミエゾウが歩いていたと知って、すごいなと思いました。ミエゾウの隣のガラスの床の下に足跡の化石があったと聞いて、触りたかったなあと思いました。

帰りのバスは、C さんとお話しできて楽しかったです。



校外学習

スクールバスに乗って、みえむに行きました。バスの中では、おしゃべりしたり、手遊びしたりしました。

みえむに着いたらまずあいさつをして、休憩する部屋を教えてくださいました。その後、みえむの中を見学しました。三重の地図や木、動物の剥製などを触りました。一番おもしろかったのは、蟬の鳴き声です。ボタンを押すと、「ミンミンミン」や「ジージー」、「つくつくぼうし」などの蟬の声が聞こえてきました。Ｄちゃんと一緒に次々と押して聞きました。鳴き声をみんなでまねしました。外は雨だったけど、ここだけ夏が来たみたいでした。

次に石の部屋に行きました。つるつるした石、ざらざらした石、大きいのに軽い石、つまむぐらいの大きな石、いろんな石がありました。すべすべして冷たくて気持ちいい石がありました。「水晶っていうんだよ」と教えてくださいました。「においをかいでごらん」と言われた石はちょっとヘンなおいで、顔をしかめてしまいました。硫黄石だそうです。温泉でこんなにおいがするそうです。

石の部屋で一番好きだったのは、サヌカイトです。鉄琴みたいなよく響くきれいな音がしました。私も叩かせてもらいました。別の石に替えると、コンコンという感じで全然響きませんでした。サヌカイトだけがカーンカーンときれいに響くんです。「この石は、中身がいっぱい詰まっているからよく響く音が出るんだよ」と教えてくださいました。最後をお願いして、また叩かせてもらいました。いっぱい叩きました。石の部屋を出る時にもサヌカイトを鳴らしてくれて、とても嬉しかったです。

鳥の部屋にも行きました。すずめをＤちゃんが触らせてくれました。「そっとそっと」と気をつけて背中をなでました。ふわっとしていました。「口もあるよ」と言われて、くちばしを触ったら、とんがっていてびっくりしました。

あっという間に帰りの時間が来て、みんなで「ありがとうございました！」とあいさつしました。私は両手を合わせてあいさつしました。楽しかったです。

